

新勇会行政視察報告書

会長 島岡 宏明

幹事 田中 義法

会計 菅井 歩美

日時 令和6年5月8日～10日まで

調査項目 ジオパークを活用した地域づくりについて

視察地 島根県隠岐郡隠岐の島町西ノ島町海士町

目的 本市は石岡 笠間 つくば 桜川 かすみがうら 土浦の6市で構成する筑波山地域ジオパークに加盟し、地域住民の参加を広げるために6市で構成する議会連盟に加盟している。今後に向けて地域住民に周知し認知度を高め行政と連携した取り組みを推進していかなければならない。そのためには、先進事例として世界ジオパークに認定され10年が経過した、一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構業務執行理事兼事務局長野邊一寛さまの指導を受けるべく隠岐の島を選定した。

令和6年5月8日（水）～10日（金）に隠岐諸島へ行政視察に行きました。
視察では、以下の内容について調査・見学しました。

- 隠岐の島町の地域活性化に向けた取り組み
- 隠岐の島町の観光振興策
- 隠岐の島町の防災・減災対策

今回の視察を通して、隠岐諸島が抱える課題と、それを克服するための様々な取り組みについて学ぶことができました。また、島民の方々の温かさに触れ、大変貴重な経験となりました。

1. 隠岐の島町の地域活性化に向けた取り組み

隠岐の島町は、人口減少や高齢化などの課題を抱えています。こうした課題を克服するため、町では様々な地域活性化に向けた取り組みを進めています。

- 観光振興

隠岐諸島は、美しい自然や歴史・文化資源に恵まれた観光地です。町では、これらの資源を活かした観光振興に力を入れています。具体的には、以下の取り組みを行っています。

- * 新規観光客の誘致
- * 滞在型観光の推進
- * 観光客の満足度向上

- 移住・定住促進

町では、移住・定住を促進するための取り組みも行っています。具体的には、以下の取り組みを行っています。

- * 移住希望者への移住相談
- * 移住者向けの住宅・仕事の紹介
- * 地域住民との交流支援

- 地域経済の活性化

町では、地域経済の活性化に向けた取り組みも行っています。具体的には、以下の取り組みを行っています。

- * 地域産品の開発・販売
- * 地域企業の育成支援
- * 起業支援

2. 隠岐の島町の観光振興策

隠岐の島町は、観光振興を町政の最重要課題の一つとして位置付けています。町では、以下の観光振興策を推進しています。

- アクセス改善

隠岐諸島へのアクセスは、フェリーのみとなっています。町では、フェリーの増便や高速船の導入などを検討しています。

- 観光施設の整備

町では、観光客の利便性を向上させるために、観光施設の整備を進めています。具体的には、以下の施設を整備しています。

- * 観光案内所
- * 宿泊施設
- * レストラン
- * 土産物店

- 観光イベントの開催

町では、観光客を呼び込むために、様々な観光イベントを開催しています。具体的には、以下のイベントを開催しています。

- * 音楽祭
- * スポーツイベント
- * 食のイベント

3. 隠岐の島町の防災・減災対策

隠岐諸島は、台風や豪雨などの自然災害に脆弱な地域です。町では、以下の防災・減災対策を進めています。

- 災害情報の収集・発信

町では、災害情報を迅速に収集・発信するために、防災行政無線やホームページなどを活用しています。

- 避難場所の整備

町では、住民が安全に避難できるよう、避難場所を整備しています。

- 防災訓練の実施

町では、住民の防災意識を高めるために、防災訓練を定期的に行っています。

質疑

Q ホテル Ento の稼働率は当初の予定と比較するとどのようになっているのか。

A 当初の予定を上回っている。

Q 隠岐と共通点のある地域について。

A 隠岐と京都は琵琶湖や川の海上交通の発達が繁栄を支えたという点で共通している。

感想

島岡 宏明

3日間の強行日程の元、野邊先生の案内で隠岐の島のジオパークを視察させていただきました。筑波山ジオパークとは違ったスケール感、そして島国ならではの独特の自然の形成、文化の発展すべてにおいて世界の認定ジオパークに圧倒された三日間でした。

朝鮮半島や大陸の空気感にも近く、また日本古来の姿でもあるように感じられ不思議な空間を楽しむことができました。土浦市も筑波山地域ジオパークの特徴を生かし地域住民にさらなる関心を持っていただけるようにしなければいけないと感じました。

まずは6市のそれぞれの特徴を私たちが把握し、地域にあったジオパーク活動の展開を模索するとともに、私たちが独走するのではなく地域住民が筑波山地域に対してどのような感情を持ち、どの程度歴史や文化に精通しているのか、各地域の持つ伝統や伝承が失われていないかを調査する必要も感じました。県南地域は都市化の波が急激に訪れる中でのジオパークの活動を構築することは困難が伴うとも感じました。

田中 義法

今回野邊先生の案内で隠岐の島を訪問し、ジオパークを活用した地域づくりについて視察させて頂きました。

まず雄大な景観に圧倒され、何億年も続いて隠岐が形成された成り立ち、生態系など貴重なものを見ることができ、

自然の尊さ・素晴らしさを、身をもって感じる事が出来ました。

数あるジオパークの中でも海域を含めた漁業など人の営みも含め隠岐を取り巻く環境そのものが隠岐ユネスコ世界ジオパークの特徴との事で、人工的に創られたものでなく自然のまま残存しているということが更に素晴らしく思いました。

本市には隠岐のような景観ではありませんが、霞ヶ浦という価値のある資産があり、霞ヶ浦を存分に活用し、地域の活性化を目指しジオパークの活動に邁進して参りたいと思います。

菅井 歩美

今回の視察を通して、隠岐諸島が抱える課題と、それを克服するための様々な取り組みについて学ぶことができました。特に印象深かったのは、島民の方々の温かさです。島民の方々は、私たち視察団を温かく迎え入れてくれ、様々な話を聞かせてくれました。

1日目

まず、隠岐ジオパークでは、「大地」「生態系」「文化」の3つのテーマのつながりを大切にしており、地域資源の価値をみんなで共有し、次の世代に向けて守り伝えていく活動をしていました。まだまだ発展途上にある地域ですが、大きな可能性を秘めていると感じ、様々な展示物を案内してくださった先生をはじめ、案内を出来る人材を町全体で育てている地域であることを知りました。オキノウサギやオキサンショウウオなど隠岐の島にしか生息しない生き物もあり、これからも大切にしていきたいと思います。

2日目

海士町内を視察し、ジオパークの理念を取り入れたホテル Ento を見学しました。大きな三葉虫やアンモナイトの化石を取り入れたラウンジや一面ガラス張りの窓からは素晴らしい景色が広がっていました。西ノ島町内では摩天崖遊歩道敷地内に多くの牛や馬が放牧されており、鍵の施錠に注意をしながら過ごしている様子が伺えました。福岡までの距離と釜山までの距離は同じであることに驚き、方角もわかりやすく示しており、学びを深めることができました。

3日目

最終日は隠岐の島町内を視察し、水若酢神社にて古墳と神社の関係を学び、隠岐特有の建築方法である「隠岐造り」の本殿を視察いたしました。隠岐諸島最古の岩石である隠岐片麻岩も道沿いで見学することができ、ジオパークの奥の深さを身近で感じることができました。ダムの周辺には野鳥も多く生息しており概要もわかりやすく大きな看板に示してあり常に大自然の広大さ感じることができました。今回の行政視察は、大変貴重な経験となりました。今後も、様々な行政視察を通して、土浦市の発展に貢献していきたいと思えます。







